



第10回
愛南町 いやしの郷 **トライアスロン大会**
2023. **6.3** SAT 13:00 START 愛媛県愛南町西海地域



愛媛
CATV
動画

愛で挑んだ、南端の地で

前日まで続いた大荒れの天気が嘘のように晴れ渡った6月3日(土)、西海地域を舞台に4年ぶりとなる『愛南町いやしの郷トライアスロン大会』が開催されました。

高低差が激しく国内屈指の難コースと名高い本大会は、公益社団法人日本トライアスロン連合の公認大会となっています。国内トップレベルの選手も多数参加したほか、愛南町からも13人の選手がエントリーし地元を盛り上げました。

当日は、全国から総勢251人(男子219人、女子32人)のトライアスリートが集結し自分の限界に挑みました。





鉄人を待ち受ける51.5km

SWIM
1.5km

スイムはフローティングスタートを採用。
2分ごと3グループに分けてスタートし、
往復750mのコースを2往復する。

バイクコースは1周10km。スタート直後
から襲いかかる急な上り坂を、選手たち
はバイクで懸命に駆け上がっていく。

BIKE
40km

RUN
10km

西海トンネルを通り久家地区を回る
コースを3周する10kmの道のり。懸命
に走り抜ける選手たちの背中を、地域
の声援が後押しする。

大会データ

▶男子総合部門

- 第1位：岩本 敏 (愛媛県) 1:59:38 ▲大会新記録
- 第2位：玉麻 裕介 (学生連合) 2:07:16
- 第3位：福吉 雄樹 (高知県) 2:11:28

▶女子総合部門

- 第1位：藤坂 百恵 (徳島県) 2:29:17
- 第2位：松本 華奈 (島根県) 2:34:48
- 第3位：松井 安希子 (香川県) 2:38:35

最終エントリー数：280人

当日出場者数：251人

完走者数：233人



▲男子1位 岩本敏選手

▼女子1位 藤坂百恵選手



総合トップでゴールした岩本選手(日本食研トライアスロン部所属)。大会優勝、そして1時間59分38秒の大会新記録を打ち立てました。

疲れを感じさせずにゴールへ駆け込むと、すぐさまコースに振り返って深々と頭を下げ、「スタッフや沿道の皆様のおかげです」と感謝の気持ちを述べました。



戦いを前に力強いシユプレヒコールを
行った前田結架さん（愛南町在住）



福浦小学校児童による『風の子太鼓』
声と太鼓で選手たちにパワーを送りました。



▲WINDSあいなんの華やかな生演奏



船越小学校児童の心こもった手作りメダル
選手の健闘を祈りながら、喜んでくれる顔を想像しながら、全校児童12人が協力し合って300
個のメダルを製作しました。





まさのり
最終ランナーの沖村政則さん（東京都）、70歳。
沿道からの声援を全身で受け、魂の走りを貫く姿に
会場全体が感動と一体感に包まれました。



ゴールを目指して自らの限界に挑む選手を後押しするのは、
地元住民やボランティアからの絶え間ない声援

応援団 国内屈指の難コース

レースを終えた選手たちは、アワードパーティーに参加。愛南町の自慢の食を堪能し、51.5kmの過酷なレースで疲れた身体を癒やしたほか、4年ぶりに再会した仲間とのひとときを存分に楽しみました。



▲地元トライアスリートの皆さん

姉妹都市の兵庫県丹波篠山市から交流ランナーとして出場した八尾彰一さん



見事完走した八尾さんは、「愛南町の皆さんが一丸となって大会を支えている『愛』を感じた」と笑顔で話しました。

アワードパーティーでは、丹波篠山市長から託された親書を清水町長に手渡し、姉妹都市交流を深めました。